

『新板舌切すずめはなし』【しんぱんしたきりすずめはなし】

■所蔵情報

請求記号 721.8/SIN

資料 ID : 10808096

所在 : 日本近代教育史資料

備考 : 34.5×24.2cm



■解説

子供ばなしとされる絵本の一つ。周知の舌切雀の物語が描かれている。粗筋は記されず、物語は絵と登場者の会話で展開する。いじわる婆さんが雀を追い払ったので、やさしい爺さんが雀の宿を訪ねて行くと、雀たちは歓迎して酒宴を催し、土産に宝物の葛籠【つづら】を貰う。羨ましがった婆さんも真似をして雀の宿に行き、同様に土産に葛籠を貰って帰り、葛籠を開けると中に化物が入っていて、恐怖で腰を抜かす。婆さんは爺さんに訓戒されて己れの非を覚る。最後のせりふは、爺さんの「せうじきでなくてはいけませんぞ」の戒めに対して、婆さんが「これからかいしんいたします」と答えている。

解説 : 小町谷照彦【こまちや・てるひこ】(東京学芸大学名誉教授)